
学園生活奮闘記

蒼天

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学園生活奮闘記

【著者名】

蒼天

Z5553D

【あらすじ】

普通の中学校に転校してきた普通の中学生、桃。そんな桃がいろんな面倒事に巻き込まれる学園ストーリー！

いつもと変わらない平日。

変わっているところといえば空の表情ぐらいだらけ。

小学生が騒ぎながら学校へ登校していく。

そして私はいつものように自分の通う中学校へ向かう。

校内に入り、私の教室のある三階へと続く長い階段を上っていく。二階の一年の教室からおはよー、おいつす、といった挨拶が交わされている。そんな声を聞いていたらいつの間にか私は自分の教室の前にいた。

2 - A

「ここが、私の教室だ。戸を開け、入り、席についた。すると、

「桃ちゃん！ おはよう！」 そんな挨拶をしてきたのは私の一番の友達、森雛菊菜モリヒナ キウナで、私の名前が大森桃子オオモリモモコだ。菊菜は小学校の頃からの親友だ。転校してきた私に優しく喋りかけてくれてそれから友達になった。菊菜はクラスではテンションの高い方だった。それ故に、こんな狭苦しい教室にもかかわらず大声で挨拶をしたのだろう。そんな考察はどうでもいい。私はとりあえず挨拶を返した。

「おはよう。菊乃」 すると菊菜は唐突に

「ねえ！ 桃ちゃんは今日誰に投票するの？」 そう言われて私は

「…何が？」 となってしまった。バカだから。

「今日生徒会長を決める投票日だよ？」 菊菜が優しく教えてくれるが、当然私の頭の中にそんな行事など入っているわけも無い。バカだから。 「一週間前から演説やつてたんだよ？」 少しだけ思い出してきた。

「…忘れてたの？」 そう言われてやつと今日何がある日か完全に思い出した。

「今日生徒会長を決める投票日だ！」 今さらのようになんて気付いた。バカだから。 「さっきから言つてんじゃん！」 と、菊菜はしつかり

とつつこんでくれる。私はボケたつもりはないけど。

「一回どんな人が立候補してるか見に行く？」と言われ、私は

「うん！行こう！」と言った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5553d/>

学園生活奮闘記

2010年10月29日06時26分発行